

図書館だより

No.17

2019.1.24

担当 児玉・安岡

寒いですね！寒いときこそ、こたつの中でぬくぬくと読書もいいのではないのでしょうか。もしくは、寒さもふっとばすくらいの熱い本を読む！？のもいいのかもしれません。さあ、これから紹介する本は、暖かいところで読む本なのか、熱い本なのか、いい本に出会ってください。

<陸上競技部のおすすめ本>

「はなちゃんのみそ汁」 阿武信吾. 千恵. はな

毎朝、早起きしてみそ汁をつくること。それが33歳でこの世を去った母と5歳の娘の「約束」だった。この本を読んでなにげない日常がいかに貴重かを再認識させてもらえた本です。私もこのはなちゃんと、はなちゃんの母のように強くいきたい。

「いつか、眠りにつく日」 いぬじゅん

はじめは、ありきたりの内容で、正直つまらないと思いました。しかし、読み進めていくうちに、この内容も後半につながる、あえての内容だったと気付きます。最終的には、引き込まれて感動させられました。周囲の人たちの死をテーマに様々な出来事を乗り越えていく話です。自分自身にも重なる部分も多くあるので共感できる本だと思います。

「風が強く吹いている」 三浦しをん

高校生時代天才ランナーと呼ばれていた「蔵原走」は、大学生になり、同じアパートに住む住人たち10人で箱根駅伝を目指すことになる。しかし、その10人は今まで長距離をほとんど走ったことがない素人ばかり。そんな10人の努力が実りそして「キセキ」が起こる。この本を読むと仲間の大切さ、チームのキズナの大切さがよくわかります。また、主人公の気持ちの変化にも注目してください。



陸上競技部のおすすめ本でした。次の機会をお楽しみに！

<工業科の先生がおすすめのクリエイティブな人向けの本>

「ドローン完全ガイド」 I/O編集部

乳井先生より

「ドローンとは本来、無人航空機のことであったが、マルチコプターと呼ばれるドローンが主流となり、ホビー用、レース用など身近に存在するようになった。また産業分野にも多様されており、その活用の範囲は年々高まっている。

このように、普及しているドローンであるが、危険性も含んでおり、正しい使い方や、規制についても知る必要がある。」

「みんなの Arduino 入門」 高本孝頼

樋渡先生より

「小学校でプログラミング教育が必修化される目的は物事を論理的に考える力を身につけるためですが、これからは教育を受けていないみなさんにも持っていることが前提とされる力になると思います。Arduino は理数系が苦手な人でも直感的にわかりやすくプログラミングを学べる安価なマイコンボードです。本を読んで Arduino やプログラミングに興味を持った方は、気軽に電気科に遊びに来て下さい。」

「ものづくりを変える！3Dプリンター」 田中浩也・荒船良孝

齊藤先生より

「3Dプリンタの最大の魅力は、思い描いたイメージを具現化できることです！機械科では課題研究などで活用しています。この本は3Dプリンタの歴史や特徴・種類が完結にまとめられています。どのような方法で立体を作り出すのか、気になる方は読んでみて下さい。実物を見てみたい方は、声をかけていただけたらと思います。」

